



西前小だより



横浜市立西前小学校 Web: <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nishimae/>

“優しさとは” ～ラグビーを通して～ 校長 鳥飼信幸

緊急事態宣言は解除となり、世の中では様々な制限が解除され、一方、変異ウイルスによる制限がかかってもいます。教育現場では子どもたちが感染しないように、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、まだまだ教育活動には制限があります。世の中とは一線を画す状況です。ご理解ご協力をお願いいたします。

さて、12月2日に市民局主催、ラグビーワールドカップレガシー事業の一環でラグビーの授業を4年生で行いました。ジャパンラグビー・リーグワンの横浜キャノンイーグルスのG M 永友洋司さん、和田拓さん、菅谷優さんと、YOKOHAMA T K Mの鈴木美緒さん、アテカ・レイヤモさん、神奈川県ラグビーフットボール協会の方々に来ていただき、本物のラグビーを体験することができました。GMの永友洋司さんには講演をしていただきました。私と同時期にラグビーをされていました。私にとっては雲の上の存在です。明治大学のラグビー部キャプテンであり、トップリーグでも活躍され日本代表にも選出された方です。私のレベルでは対戦することは不可能な方です。その方に、本校は指導を受ける機会に恵まれました。日本代表のスクラムハーフからのパスを受けることができました。光栄です！

和田拓さん、菅谷優さんと、鈴木美緒さん、アテカ・レイヤモさん、神奈川県ラグビーフットボール協会の方々に実技指導を受け、試合をしました。子どもたちはもちろん、指導してくださる方々も笑顔で楽しんでいました。みなさんから、「西前小の4年生は人の話をよく聞く」「理解が早い」「チームワークがいい」「一人ひとりが積極的」「すぐに行動できることがすばらしい」と褒めてくださいました。大成功のイベントとなりました。私はというと、試合のトイメン（相手）がキャノンイーグルスの2人だったので、現役の頃を思い出し果敢に挑みました。なんと、その2人からトライを奪うことができました。子どもたち以上に楽しんだかもしれません。二人はとても悔しがっていました。私は軽い肉離れになりましたが…。後日、菅谷優さんから連絡をいただきました。「西前小の子どもたちといっしょにラグビーをして、とっても楽し

く感動したので…」というお話でした。改めて学校へ連絡したことは今までないそうです。それだけ子どもたちのラグビーに取り組む姿勢や相手の心を動かす行動があったからだと思います。「校長先生にトライされたことも悔しい…」とも話していました。

GMの永友さんは以前、「キャプテンにもタイプはいろいろあると思いますけど、僕は優しさは捨てちゃいけないと思います。冷酷にならなければいけない、クールにならなければいけない、カリスマ性を持たなければいけない、とよく言われますが、そういうのもありだと思いますが、優しさを持っていることが大事だと思います。」と話をされていました。

「優しさ」とは、「自分のことだけではなく、常に相手の立場を想像して物事を考えられる人」「自分が話すことよりも、聞く人」「自分のことのように喜んだり悲しんだりする共感力のある人」「困っている人に声をかけたり、悲しんだり、悩んだり、苦しんだりしている人に寄り添う人」「嫌われても、相手のことを考え、だめなことはだめと言える人」「自分に対する見返りを求めず、損得を考えずに相手のために行動する人」「自分自身も好きな人」など。

永友さんのキャプテンとしての行動は、きっとこれだけではないでしょう。「優しさ」は、人を幸せにすることができると思います。だからこそ、永友さんはキャプテンになり、チームのみんなを幸せに導いていたのではないのでしょうか。

永友さんの「優しさ」の先には…。「ノーサイドの精神と言いますか、人という財産ができました。ラグビーを通じてすごく増えました。いろいろな人と友達になれたというのがあります。」と話されました。ラグビーは、「ルールのあるケンカ」とも言われます。そのケンカ相手も友達になれたということになります。

「ノーサイド」の笛は「試合が終われば勝利の側（サイド）も負けた側もない」というラグビー精神につながっています。日本人や外国人、性別、年齢、職業、地位に関係なく楯円球を追っていくラグビーでは、永友さんの優しさのリーダーシップはとても大切であることが理解できます。また、チームとして、「尊敬・尊重（Respect）、規律（Discipline）、情熱（Passion）」という3つのキーワードを胸に、ひたむきにラグビーに向き合うとも話されています。私も校長として学ぶべきことだと実感しました。

子どもたちも、このラグビー体験を通して、友達の話を聞き、友達の気持ちを想像し、友達を思う気持ちをもっていただけました。コロナ禍でありながら、ラグビーを通して、新しい絆が生まれ、心の成長

があったようでした。相手のことを想像し相手のことを思う気持ちが、成長したのではないかと感じました。

困難こんなんだからこそ、相手の気持ちを想像しての行動がより大切です。子どもたちの相手を思う「優しさ」をもって乗り越えていこうとしている姿すがたに、私たち大人も見習うことがあるのではと感じます。

早く、新型コロナウイルス感染が終息しゅうそくし、子どもたちが伸び伸びと学習活動がくしゅうかつどうができ、友達とのかかわりが自然体しぜんたいでできることを願うばかりです。コロナ禍で困難な時ときだからこそ「優しさ」を。

2021年おわりが終わります。4月よりPTA・保護者・地域の方々・区役所・専門機関等の皆様、本校の教育活動にご支援しえんご協力、感謝かんしゃ申し上げます。ありがとうございました。

来年らいねん2022年も子どもたちのために、ONE TEAMで、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

学校ホームページへのアクセスはこちらから→



【新型コロナウイルス感染症に関する連絡について】

新型コロナウイルス感染症に関連してお子様ご本人や同居のご家族がPCR検査を実施した場合、または、濃厚接触者と認定された場合は、必ず学校までご連絡をお願いします。

配布した健康観察表を確認し、毎日の健康観察にご協力ください。

緊急の連絡をメール配信や学校ホームページで行うことがあります。随時ご確認いただくようお願い致します。

※学校関係者に新型コロナウイルス感染が確認された場合は、保護者の皆様はその旨お知らせいたします。

【成田真由美さん 特別授業】5年生 12/21

パラリンピック競泳選手で、アトランタ、シドニー、アテネ、北京と4大会連続出場し、合計15個の金メダルを獲得した成田真由美さんが、西前小学校5年生に特別授業を行って下さいました。一度は第一線を退いていましたがリオ大会で競技復帰し、「水の女王」と呼ばれたアスリート、東京パラリンピックにも出場したトップスイマーから、「心のバリアフリー」についてお話を伺いました。



【学校納入金の手続きについて】

次回の学校納入金の口座振替日は、1月11日（火）です。（振替えできなかった場合の再振替日は1/24（月）です。）振替金額は別表の通りですので、ご確認をお願い致します。

学年	振替金額	学年	振替金額
1年	学年費 2250 円 + PTA 会費 2000 円	4年	学年費 2550 円 + PTA 会費 2000 円
2年	学年費 2250 円 + PTA 会費 2000 円	5年	学年費 2700 円 + PTA 会費 2000 円
3年	学年費 2550 円 + PTA 会費 2000 円	6年	学年費 2700 円 + PTA 会費 2000 円
個別支援	学年費 1800 円 + PTA 会費 2000 円	※PTA 会費は家庭数の児童のみ振替えます。	

※各振替手続きに対して 37 円の手数料がかかります。

なお、各ご家庭宛に令和4年度からの口座振替依頼について手続きをお願いしていました。ご協力ありがとうございました。新年度の振替業務は浜銀ファイナンスに委託して行います。振替金額、手数料等の詳細については新年度にお知らせいたします。よろしく申し上げます。